



クイックステップ ハードウッドフローリング

## 施工説明書

- 1** 捨て張り工法の場合
- 2** 直貼り工法の場合
- 3** 置き床工法の場合



クイックステップ ハードウッドフローリング

## 1. 捨て貼り工法の場合

1. 商品の搬入
2. 道具の準備
3. 下地の確認
4. 仮並べと割付け
5. 接着剤の塗布
6. 貼り込み
7. 施工完了後
8. メンテナンスについて

ユニクリック方式で施工されたフローリングをより安定させるため、  
また床材の伸縮による突き上げや隙間を防ぐため、捨て貼り工法を推奨します。

### 本説明書について

Quick Step は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、繰り返し伸縮する特性を有しています。  
周辺の温度、湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。

本取扱説明書には製品を長く、安心してご使用いただくために重要な内容を記載しています。  
製品ご使用前に内容をお読みいただき、注意事項を遵守していただきますようお願い申し上げます。また、  
本取扱説明書は製品の施工、ご使用の上で重要な書類ですので、大切に保管してください。

商品に関するお問い合わせ

最寄りの営業所、またはお問い合わせフォームからお問い合わせください  
<https://www.nagai.co.jp/>



## 1 商品の搬入

- 当製品は、角が傷つきやすいため搬入中・施工中の荷扱いには十分注意してください。また、現場での保管は壁などに立て掛けず水平に保管してください。
- 商品は施工の 48 時間前に現場に納入し、施工に最適な温度環境（15～20℃）に馴染ませからご使用ください。
- 現場・倉庫での保管はパレット・台木の上に載せ、地面には直接置かないでください。また、シート等できちんと養生してください。下地に直接置く場合は下地が濡れていないか確認してください。
- 納品時や開梱時に損傷や不具合が認められる場合は、必ず施工前にご連絡ください。商品到着から 10 日以上経過した場合の破損・紛失等につきましては無償対応致しかねます。
- 当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め 店または弊社までご連絡ください。

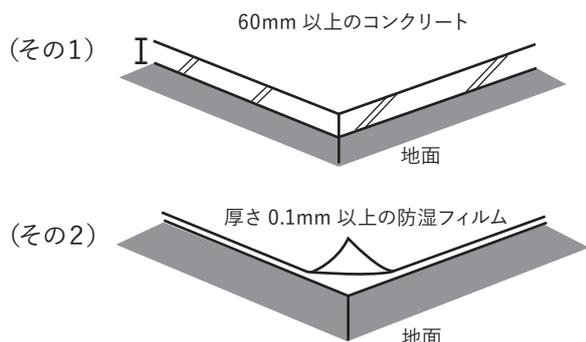
## 2 道具の準備

- ①スケール ②手鋸 ③電動丸鋸 ④玄能・木槌・プラハンマー等 ⑤カッターナイフ ⑥養生テープ  
⑦当て木 ⑧フロア用ステープル（見切取付はフィニッシュネイルでも可能）

## 3 下地の確認

- 木製床下地の場合、少なくとも床下に十分な通風スペースが確保されており、また床下も適切な防湿フィルムで湿気対策を行ってください。
- 床下地の表面が滑らかでない場合は、下地を平滑にしてから施工を行ってください。
- 根太の上には下地合板は厚さ 12mm 以上、含水率 14% 以下のものを使用してください。
- 十分な乾燥の後、施工してください。下地材・根太・床下等がひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。
- 防湿のために床下の風通しをよくしてください。湿度が特に高い場合は、地盤全面に厚さ 60mm 以上のコンクリートの打設、または厚さ 0.1mm 以上の防湿フィルムを全面に敷きつめる等の防湿処理をおこなってください。
- 直接根太上に施工すると強度不足のため破損することがあります。根太の上には下地合板として厚さ 12mm 以上、含水率 14% 以下のものを使用してください。
- 捨て張り合板の接合部の段差ができないように注意してください。

床下の湿度が高い場合の防湿方法



## 4 仮並べと割付け

### 【仮並べ】

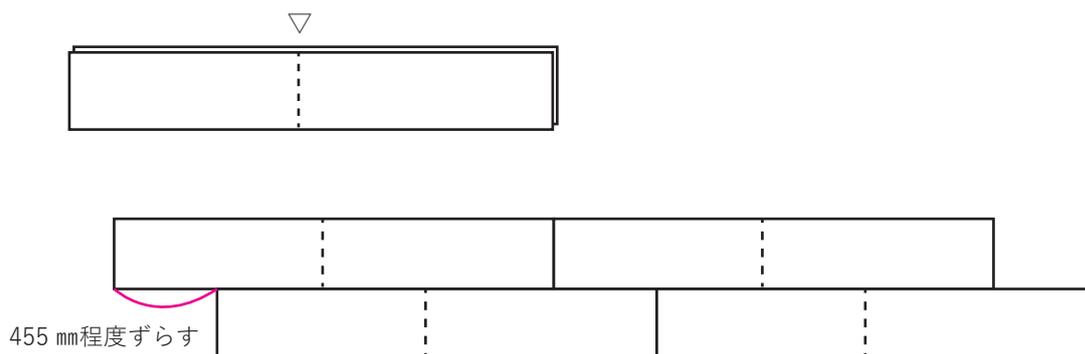
- 損傷や不具合がないか確認をしてください。
- 色の濃淡・木柄などが部分的に偏らないように、全体の色柄のバランスを確認してください。天然木を使用しているために、1枚1枚の色柄が異なります。
- 不具合があった場合は施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。施工後のお申し出には応じかねます。

### 【割付け】

- 短辺の接続箇所が隣り合わないよう割付けをしてください。
- 開口部や壁際に納めるフロアが極端に狭くならないように部屋の幅を測り、1列目の板幅を決めてください。
- 張り込み最終列のフローア幅を40 mm以上になるように割り付けると最後が簡単に納められます。
- 短辺の接続箇所が隣り合わせになっていると、施工後にフローアの間、段違い、床なりなどの不具合が発生することがあります。

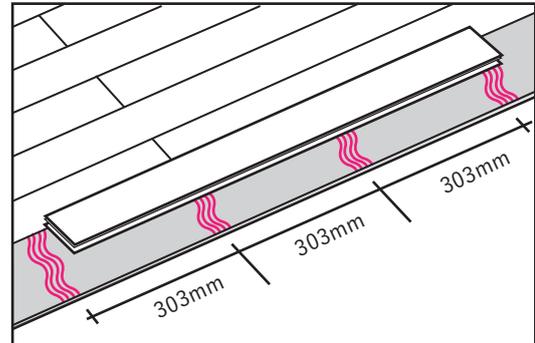
### 【2V (Compact MAQUANT) 幅 145 mmの割付けについて】

Compact (145 mm幅タイプ) はフローリングセンターあたりに縦継ぎのジョイントがあります。ジョイントが重ならないように割付をしてください。



## 5 接着剤の塗布

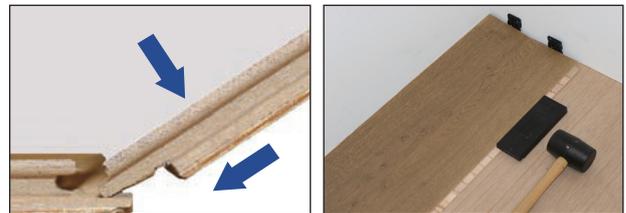
- 接着剤は、ウレタン樹脂系接着剤を推奨します。
- 捨て張り合板もしくは床材裏面に 303 mm 間隔で塗布してください。



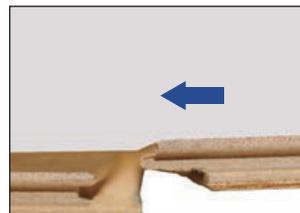
## 6 貼り込み

手順に従ってフローアを貼り込んでください。

- ① フローアの長辺方向を約 20 ～ 30 度の角度でサネに差し込み、そのまま落とし込みます。(必要に応じてゴムハンマーとタッピングブロックで軽くたたきます)



- ② フローアを水平にスライドさせて短辺方向を結合します。(必要に応じてフローリング寄せ道具やタッピングブロックで軽くたたきます)



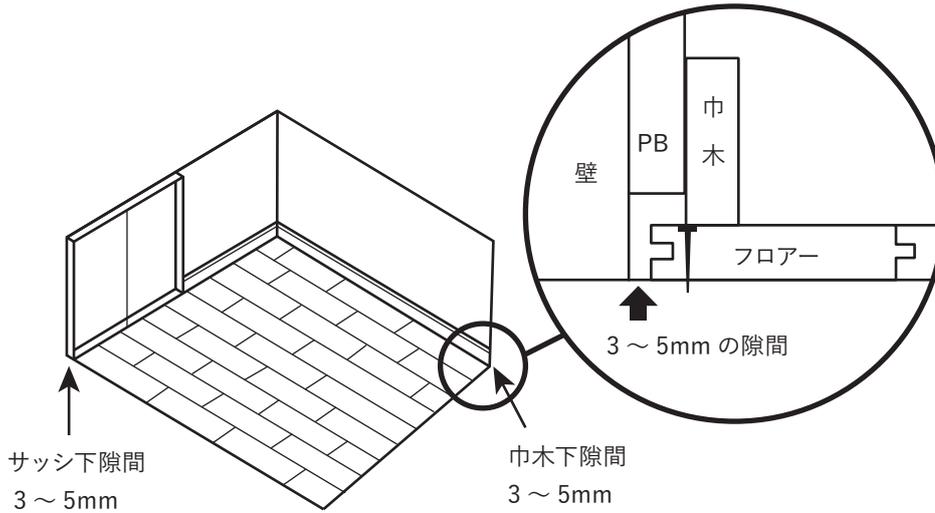
- ③ 長辺、短辺方向共に確実に結合されているか確認してください。

- ④ 303 mm 間隔でフローア用ステーブルで打ち込んでください。



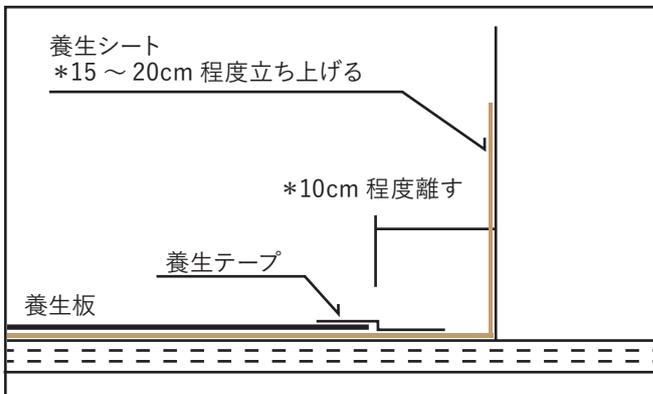
### 【貼り込み時の注意】

- 打ち込み時、ステープルの頭がサネから浮き出ないように適正なエア圧を設定してください。頭が出ていると確実なフロアの結合が出来ない恐れがあります。また、強く打ち込みすぎるとサネの破損等により適正な釘保持力が確保できませんのでご注意ください。
- 壁際およびサッシ下などには必ず3～5mmの隙間をあけてください。適切にクリアランスを確保しない場合、フロアの浮き、突き上げ、床鳴りといった不具合の原因になります。
- 湿気の多い所に設置する場合（キッチン・洗面等）は切断面に防水処理をすることをお勧めします。



## 7 施工完了後

- サネ部分に隙間や、突き上げ、欠け、浮きといった不具合が発生していないか、今一度ご確認ください。
- 施工後は、木屑や砂、ゴミをきれいに取り除いてダンボール、ペニヤ等で隙間なくカバーしてください。ガムテープや粘着力の強い養生テープを使用になりますと床表面に粘着成分が残り変色や汚れの原因になる可能性があります。



## 8 メンテナンスについて

### 【通常のお手入れ】

- ホウキ、掃除機などでフロア表面のゴミを取り除いてください。
- 通常のお手入れは、固く絞った雑巾と掃除機で十分汚れが取れます。
- ワックスがけは禁止です。ワックスを表面に塗布すると、油分が表面に残り、汚れが黒ずんで取れなくなる可能性があります。

### 【落ちない汚れは】

- フロア表面以外の箇所（巾木、壁等）を養生してください。
- 中性洗剤をぬるま湯で希釈した洗剤液を作ります。
- 洗剤液を含ませたモップ、または雑巾を固くしぼり、フロア表面を拭いてください。
- 洗剤液用と、水拭き用のモップ・雑巾は別のもので使用してください。
- 洗剤液は完全に拭き取ってください。
- フロア表面に洗剤液が残ると、白化の原因になります。
- 汚れが落ちない場合は、メラミンスポンジに少量の水を含ませ、擦り落としてください。

### 【水濡れに関して】

- 床表面に水をこぼした際は放置せず速やかに拭き取ってください。そのまま放置しますと、膨張、表面はがれの原因になります。
- つなぎ目やフロアの切断面から水分が浸透する場合があります。水濡れは材の膨れや汚れの原因となりますので、出来るだけ速やかに拭き取ってください。
- 多量に水を使用した水洗いは禁止です。通常のお手入れは、固く絞った雑巾と掃除機で十分汚れが取れます。

### 【耐久性や耐汚性に関して】

- クイックステップは強い耐傷性がありますが、傷がつかないわけではありません。
- フロア表面には強い耐汚性がありますが、全ての汚れが付着しないわけではありません。
- ナイロンキャストを使用した場合に砂や小石や硬いゴミ等で傷がつく場合があります。
- 土足での使用の場合、入り口にドアマットを敷いてください。
- 万が一、外的な衝撃によりフロアに欠けや割れが生じた場合には、壁際から床をはずし、ダメージのあるフロアのみ交換するか、床専門の補修業者（リペア業者）様に、パテ埋め、もしくはタッチアップ等にて補修していただくことを推奨いたします。
- 当製品は一般的な市販の洗剤に対する耐薬品性を持っておりますが、酸性の強い製品や塩素系の商品においては、長期間放置するとフロア表面に影響が出るものもありますので、出来る限り速やかに拭き取ってください。（塩素系のタイプも同様です。）
- 汚れの多い場所で使用の際は、表面の凹凸部に汚れが入り込み、完全に拭き取れない場合があります。



クイックステップ ハードウッドフローリング

## 2. 直貼り工法の場合

1. 商品の搬入
2. 道具の準備
3. 下地の確認
4. 仮並べと割付け
5. 接着剤の塗布
6. 貼り込み
7. 施工完了後
8. メンテナンスについて

### 本説明書について

Quick Step は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、繰り返し伸縮する特性を有しています。周辺の温度、湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。

本取扱説明書には製品を長く、安心してご使用いただくために重要な内容を記載しています。製品ご使用前に内容をお読みいただき、注意事項を遵守していただきますようお願い申し上げます。また、本取扱説明書は製品の施工、ご使用の上で重要な書類ですので、大切に保管してください。

商品に関するお問い合わせ

最寄りの営業所、またはお問い合わせフォームからお問い合わせください  
<https://www.nagai.co.jp/>



## 1 商品の搬入

- 当製品は、角が傷つきやすいため搬入中・施工中の荷扱いには十分注意してください。また、現場での保管は壁などに立て掛けず水平に保管してください。
- 商品は施工の 48 時間前に現場に納入し、施工に最適な温度環境（15～20℃）に馴染ませからご使用ください。
- 現場・倉庫での保管はパレット・台木の上に載せ、地面には直接置かないでください。また、シート等できちんと養生してください。下地に直接置く場合は下地が濡れていないか確認してください。
- 納品時や開梱時に損傷や不具合が認められる場合は、必ず施工前にご連絡ください。商品到着から 10 日以上経過した場合の破損・紛失等につきましては無償対応致しかねます。
- 当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め 店または弊社までご連絡ください。

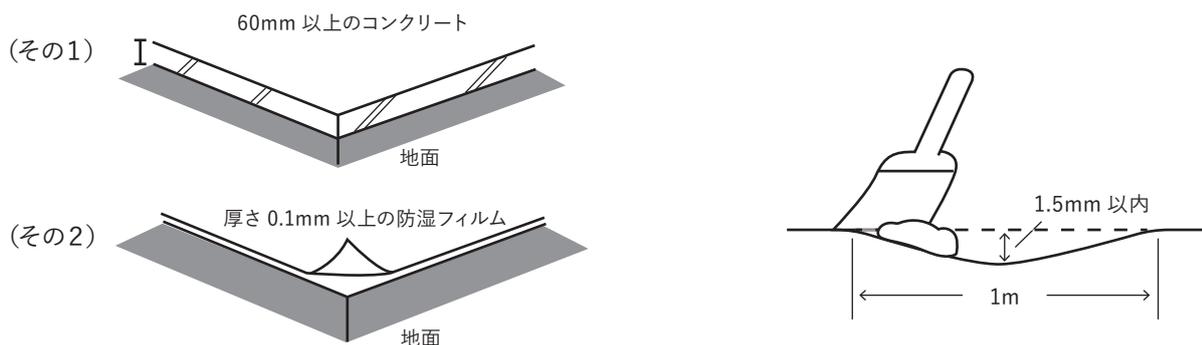
## 2 道具の準備

- ①スケール ②手鋸 ③電動丸鋸 ④玄能・木槌・プラハンマー等 ⑤カッターナイフ ⑥養生テープ  
⑦当て木

## 3 下地の確認

- コンクリート床下地は十分な乾燥の後、施工してください。乾燥の目安は、打設後、夏季で 3 週間、冬季で 4 週間以上が必要です。ひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。
- コンクリート床下地の含水率が 10% 以下であることを確認してから施工してください。含水率が 10% より高いと接着不良や床材の反り・突き上げ・変色等が生じるおそれがあります。
- 平滑で異物等が無い状態にしてください。粉ふきやほこり、小粒の付着物がある場合には、十分に除去してください。
- 床下地が平滑でない場合は、下地を平滑にしてから施工を行ってください。不陸は、1m あたり 1.5mm 以下となるように、事前にレベリング材等で十分調整してください。
- セルフレベリング材を打設する場合は各メーカーの仕様に従ってください。

床下の湿度が高い場合の防湿方法



## 4 仮並べと割付け

### 【仮並べ】

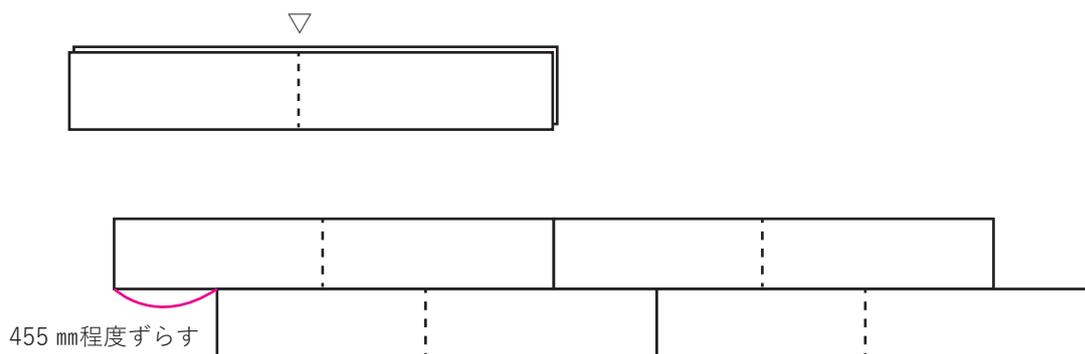
- 損傷や不具合がないか確認をしてください。
- 色の濃淡・木柄などが部分的に偏らないように、全体の色柄のバランスを確認してください。天然木を使用しているために、1枚1枚の色柄が異なります。
- 不具合があった場合は施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。施工後のお申し出には応じかねます。

### 【割付け】

- 短辺の接続箇所が隣り合わないよう割付けをしてください。
- 開口部や壁際に納めるフロアが極端に狭くならないように部屋の幅を測り、1列目の板幅を決めてください。
- 張り込み最終列のフロア幅を40 mm以上になるように割り付けると最後が簡単に納められます。
- 短辺の接続箇所が隣り合わせになっていると、施工後にフロアの間隙、段違い、床なりなどの不具合が発生することがあります。

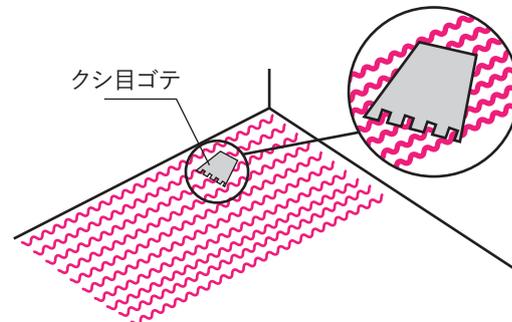
### 【2V (Compact MAQUANT) 幅 145 mmの割付けについて】

Compact (145 mm幅タイプ) はフローリングセンターあたりに縦継ぎのジョイントがあります。ジョイントが重ならないように割付をしてください。



## 5 接着剤の塗布

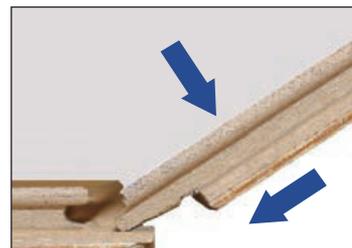
- 接着剤は、ウレタン樹脂系接着剤を推奨します。
- 目の細かいクシ目ゴテを使用して均一に前面に塗布してください。
- 接着剤を塗りすぎると、フロアの貼り込み時に短辺の目地から接着剤がはみ出る可能性があります。



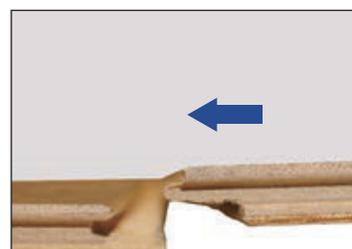
## 6 貼り込み

手順に従ってフロアを貼り込んでください。

- ① フロアの長辺方向を約 20 ～ 30 度の角度でサネに差し込み、そのまま落とし込みます。(必要に応じてゴムハンマーとタッピングブロックで軽くたたきます)



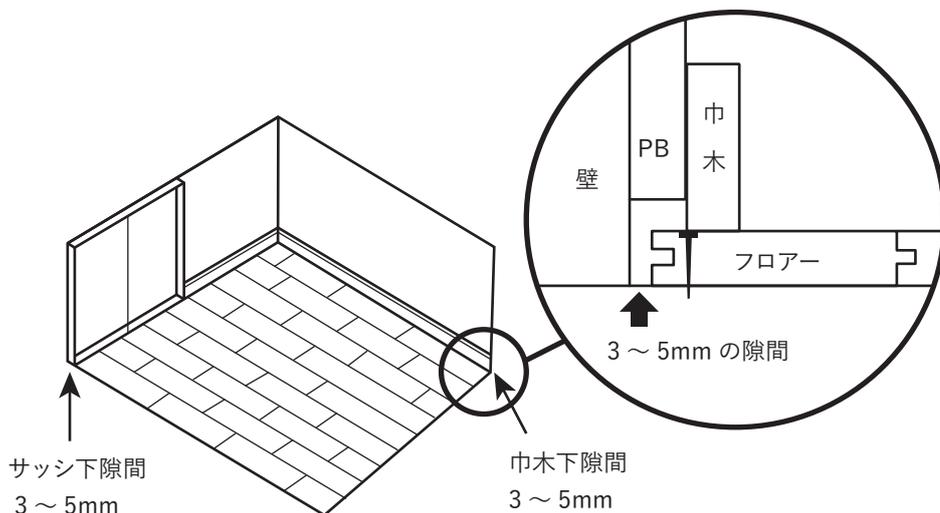
- ② フロアを水平にスライドさせて短辺方向を結合します。(必要に応じてフローリング寄せ道具やタッピングブロックで軽くたたきます)



- ③ 長辺、短辺方向共に確実に結合されているか確認してください。

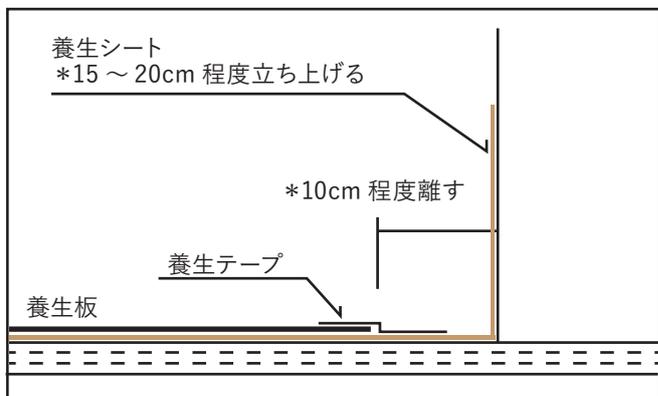
### 【貼り込み時の注意】

- 壁際およびサッシ下などには必ず3～5mmの隙間をあけてください。適切にクリアランスを確保しない場合、フロアの浮き、突き上げ、床鳴りといった不具合の原因になります。
- 湿気の多い所に設置する場合（キッチン・洗面等）は切断面に防水処理をすることをお勧めします。



## 7 施工完了後

- サネ部分に隙間や、突き上げ、欠け、浮きといった不具合が発生していないか、今一度ご確認ください。
- 施工後は、木屑や砂、ゴミをきれいに取り除いてダンボール、ペニヤ等で隙間なくカバーしてください。ガムテープや粘着力の強い養生テープを使用しますと床表面に粘着成分が残り変色や汚れの原因になる可能性があります。



## 8 メンテナンスについて

### 【通常のお手入れ】

- ホウキ、掃除機などでフロア表面のゴミを取り除いてください。
- 通常のお手入れは、固く絞った雑巾と掃除機で十分汚れが取れます。
- ワックスがけは禁止です。ワックスを表面に塗布すると、油分が表面に残り、汚れが黒ずんで取れなくなる可能性があります。

### 【落ちない汚れは】

- フロア表面以外の箇所（巾木、壁等）を養生してください。
- 中性洗剤をぬるま湯で希釈した洗剤液を作ります。
- 洗剤液を含ませたモップ、または雑巾を固くしぼり、フロア表面を拭いてください。
- 洗剤液用と、水拭き用のモップ・雑巾は別のもので使用してください。
- 洗剤液は完全に拭き取ってください。
- フロア表面に洗剤液が残ると、白化の原因になります。
- 汚れが落ちない場合は、メラミンスポンジに少量の水を含ませ、擦り落としてください。

### 【水濡れに関して】

- 床表面に水をこぼした際は放置せず速やかに拭き取ってください。そのまま放置しますと、膨張、表面はがれの原因になります。
- つなぎ目やフロアの切断面から水分が浸透する場合があります。水濡れは材の膨れや汚れの原因となりますので、出来るだけ速やかに拭き取ってください。
- 多量に水を使用した水洗いは禁止です。通常のお手入れは、固く絞った雑巾と掃除機で十分汚れが取れます。

### 【耐久性や耐汚性に関して】

- クイックステップは強い耐傷性がありますが、傷がつかないわけではありません。
- フロア表面には強い耐汚性がありますが、全ての汚れが付着しないわけではありません。
- ナイロンキャストを使用した場合に砂や小石や硬いゴミ等で傷がつく場合があります。
- 土足での使用の場合、入り口にドアマットを敷いてください。
- 万が一、外的な衝撃によりフロアに欠けや割れが生じた場合には、壁際から床をはずし、ダメージのあるフロアのみ交換するか、床専門の補修業者（リペア業者）様に、パテ埋め、もしくはタッチアップ等にて補修していただくことを推奨いたします。
- 当製品は一般的な市販の洗剤に対する耐薬品性を持っておりますが、酸性の強い製品や塩素系の商品においては、長期間放置するとフロア表面に影響が出るものもありますので、出来る限り速やかに拭き取ってください。（塩素系のタイプも同様です。）
- 汚れの多い場所で使用の際は、表面の凹凸部に汚れが入り込み、完全に拭き取れない場合があります。



# QUICK-STEP®

## FLOOR DESIGNERS

クイックステップ ハードウッドフローリング

### 3. 置き床工法

1. 商品の搬入
2. 道具の準備
3. 下地の確認
4. 仮並べと割付け
5. 接着剤の塗布
6. 貼り込み
7. 施工完了後
8. メンテナンスについて

置き床工法は簡易的な施工方法です。不陸が大きいとサネがはまりにくかったり、外れやすくなります。ご注意の上施工を行ってください。

#### 本説明書について

Quick Step は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、繰り返し伸縮する特性を有しています。周辺の温度、湿度などの環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。

本取扱説明書には製品を長く、安心してご使用いただくために重要な内容を記載しています。製品ご使用前に内容をお読みいただき、注意事項を遵守していただきますようお願い申し上げます。また、本取扱説明書は製品の施工、ご使用の上で重要な書類ですので、大切に保管してください。

商品に関するお問い合わせ

最寄りの営業所、またはお問い合わせフォームからお問い合わせください  
<https://www.nagai.co.jp/>



## 1 商品の搬入

- 当製品は、角が傷つきやすいため搬入中・施工中の荷扱いには十分注意してください。また、現場での保管は壁などに立て掛けず水平に保管してください。
- 商品は施工の48時間前に現場に納入し、施工に最適な温度環境（15～20℃）に馴染ませからご使用ください。
- 現場・倉庫での保管はパレット・台木の上に載せ、地面には直接置かないでください。また、シート等できちんと養生してください。下地に直接置く場合は下地が濡れていないか確認してください。
- 納品時や開梱時に損傷や不具合が認められる場合は、必ず施工前にご連絡ください。商品到着から10日以上経過した場合の破損・紛失等につきましては無償対応致しかねます。
- 当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

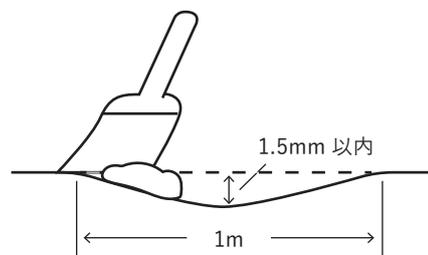
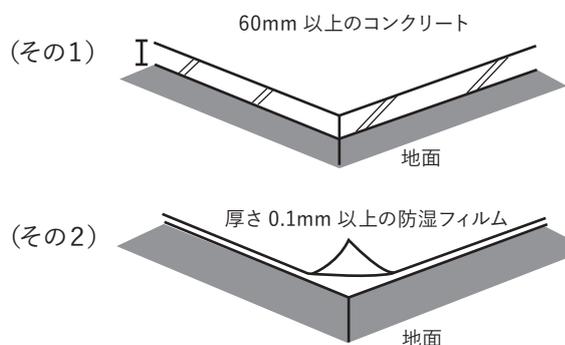
## 2 道具の準備

- ①スケール ②手鋸 ③電動丸鋸 ④玄能・木槌・プラハンマー等 ⑤カッターナイフ ⑥養生テープ  
⑦当て木

## 3 下地の確認

- 木製床下地の場合、少なくとも床下に十分な通風スペースが確保されており、また床下も適切な防湿フィルムで湿気対策を行ってください。
- コンクリート床下地の含水率が10%以下であることを確認してから施工してください。含水率が10%より高いと接着不良や床材の反り・突き上げ・変色等が生じるおそれがあります。
- 床下地の表面が滑らかでない場合は、平滑で異物等が無い状態にしてください。

床下の湿度が高い場合の防湿方法



## 4 仮並べと割付け

### 【仮並べ】

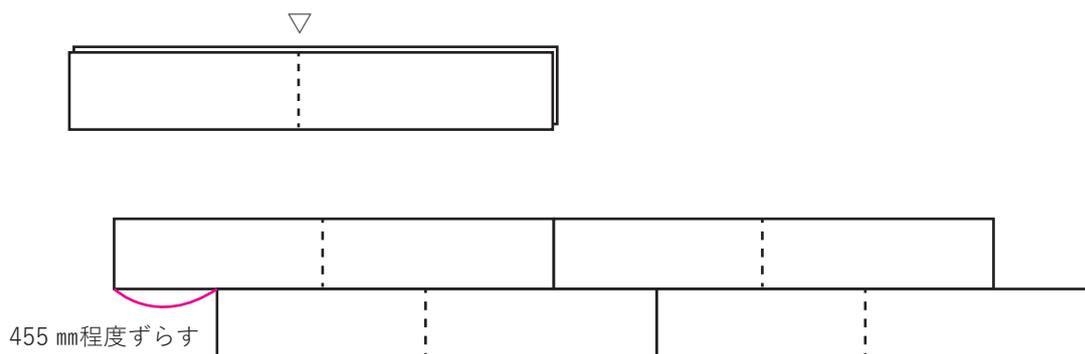
- 損傷や不具合がないか確認をしてください。
- 色の濃淡・木柄などが部分的に偏らないように、全体の色柄のバランスを確認してください。天然木を使用しているために、1枚1枚の色柄が異なります。
- 不具合があった場合は施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。施工後のお申し出には応じかねます。

### 【割付け】

- 短辺の接続箇所が隣り合わないよう割付けをしてください。
- 開口部や壁際に納めるフロアが極端に狭くならないように部屋の幅を測り、1列目の板幅を決めてください。
- 張り込み最終列のフロア幅を40 mm以上になるように割り付けると最後が簡単に納められます。
- 短辺の接続箇所が隣り合わせになっていると、施工後にフロアーの間、段違い、床なりなどの不具合が発生することがあります。

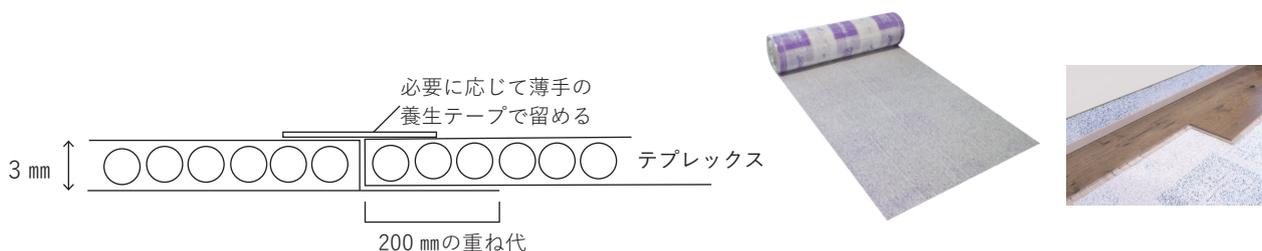
### 【2V (Compact MAQUANT) 幅 145 mmの割付けについて】

Compact (145 mm幅タイプ) はフローリングセンターあたりに縦継ぎのジョイントがあります。ジョイントが重ならないように割付をしてください。



## 5 不陸調整シートの敷き込み（推奨）

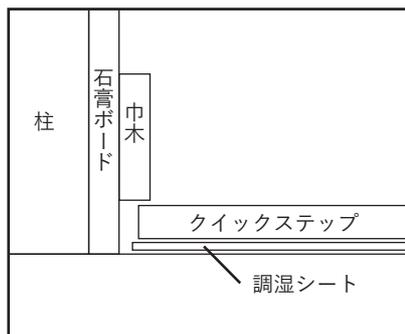
- フローティングでの施工の場合、不陸調整シート「テプレックス」の使用を推奨します。柔軟な構造のため、下地の凸凹を平らにします。また、防湿性、通気性、遮音性にも優れています。
  - テプレックスのロゴマークを下にして敷き詰めます。
  - 200 mmの重ね代が折り畳まれていますので、引き出して重ねてください。つなぎ目は必要に応じて養生テープで留めてください。
  - ※テプレックスの上にフロアを施工する場合はフロア周辺の壁際およびサッシ下などに際根太を施工することを推奨します。



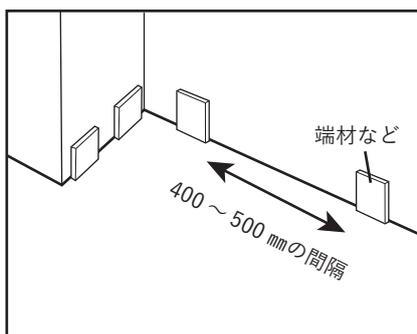
## 6 貼り込み

- 本製品は木質系のフロアであるため、加工した後も室内の温湿度環境に応じ伸縮が発生します。そのため、すべての方向にクリアランス（調整幅）が必要です。適切にクリアランスを確保しない場合、フロアの浮き、突き上げ、床鳴りといった不具合の原因になります。
- 部屋の出入り口等には床見切を設置してください。
- フロアの敷き込みの1辺が20mを超える場合は床見切等を設置して一度縁切りをしてください。
- 施工不良の原因となるため、コーキングによるクリアランスは避けてください。

基本的な納まり



スペーサーを設置

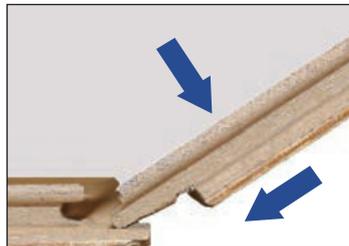


必要なクリアランス

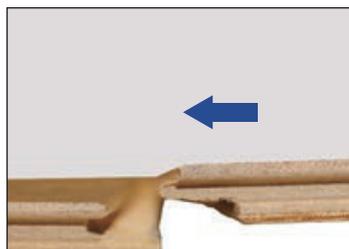
1辺の長さ	クリアランス
8 m未満	片側 4 mm以上
8~12 m未満	片側 8 mm以上
20 m以上	見切り材で縁を切る

手順に従ってフローアを貼り込んでください。

- ① フローアの長辺方向を約 20 ～ 30 度の角度でサネに差し込み、そのまま落とし込みます。(必要に応じてゴムハンマーとタッピングブロックで軽くたたきます)



- ② フローアを水平にスライドさせて短辺方向を結合します。(必要に応じてフローリング寄せ道具やタッピングブロックで軽くたたきます)



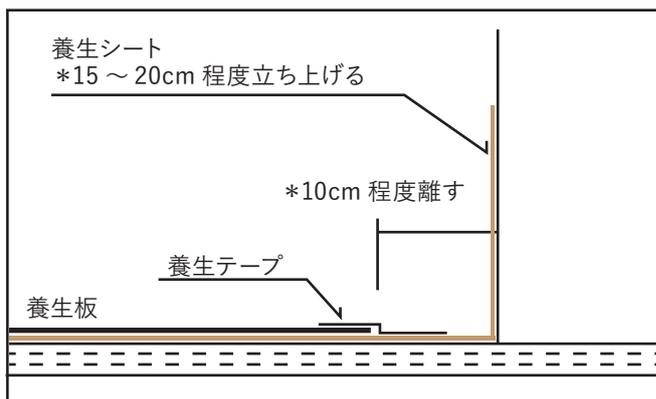
- ③ 長辺、短辺方向共に確実に結合されているか確認してください。

#### 【貼り込み時の注意】

- 配管パイプ周りへ敷き込む場合は配管パイプ径 +16 ～ 24 mmの穴を開けクリアランスを確保してください。
- 重量物がある場合には、重量物の際に床見切を設置し縁切りを行い、クリアランスを確保してください。重量物の目安=350kg を超えるもの(ピアノ、書棚など)
- ビスをフローアに固定することは次の場合を除いて禁止です。
  1. フローアのみでビス固定する場合: フローア厚 13mm 以内のビス固定であればフローアの伸縮を妨げることがありませんので取付けは可能です。この場合フローアの伸縮に準じて固定物が動きますので、可動に際して問題ない場合に施工してください。
  2. 下地にビスを留める場合: 外周部と同じ様に、ビス廻りにクリアランスが確保できる下穴をフローアにあけてから、ビスとフローアが接しない様に施工してください。この場合ビスを締めつけてフローアの可動を妨げない様にビスを締める様にしてください。直接ビスでフローアを固定すると突き上げ、床鳴りの原因になります。
- 湿気の多い所に設置する場合(キッチン・洗面等)は切断面に防水処理をすることをお勧めします。

## 7 施工完了後

- 巾木や建具等がフロアを押し付けることで、クリアランスを阻害していないか、再度ご確認ください。
- サネ部分に隙間や、突き上げ、欠け、浮きといった不具合が発生していないか、今一度ご確認ください。
- 施工後は、木屑や砂、ゴミをきれいに取り除いてダンボール、ベニヤ等で隙間なくカバーしてください。ガムテープや粘着力の強い養生テープを使用になりますと床表面に粘着成分が残り変色や汚れの原因になる可能性があります。



## 8 メンテナンスについて

### 【通常のお手入れ】

- ホウキ、掃除機などでフロア表面のゴミを取り除いてください。
- 通常のお手入れは、固く絞った雑巾と掃除機で十分汚れが取れます。
- ワックスがけは禁止です。ワックスを表面に塗布すると、油分が表面に残り、汚れが黒ずんで取れなくなる可能性があります。

### 【落ちない汚れは】

- フロア表面以外の箇所（巾木、壁等）を養生してください。
- 中性洗剤をぬるま湯で希釈した洗剤液を作ります。
- 洗剤液を含ませたモップ、または雑巾を固くしぼり、フロア表面を拭いてください。
- 洗剤液用と、水拭き用のモップ・雑巾は別のもので使用してください。
- 洗剤液は完全に拭き取ってください。
- フロア表面に洗剤液が残ると、白化の原因になります。
- 汚れが落ちない場合は、メラミンスポンジに少量の水を含ませ、擦り落としてください。

### 【水濡れに関して】

- 床表面に水をこぼした際は放置せず速やかに拭き取ってください。そのまま放置しますと、膨張、表面はがれの原因になります。
- つなぎ目やフロアの切断面から水分が浸透する場合があります。水濡れは材の膨れや汚れの原因となりますので、出来るだけ速やかに拭き取ってください。
- 多量に水を使用した水洗いは禁止です。通常のお手入れは、固く絞った雑巾と掃除機で十分汚れが取れます。

### 【耐久性や耐汚性に関して】

- クイックステップは強い耐傷性がありますが、傷がつかないわけではありません。
- フロア表面には強い耐汚性がありますが、全ての汚れが付着しないわけではありません。
- ナイロンキャストを使用した場合に砂や小石や硬いゴミ等で傷がつく場合があります。
- 土足での使用の場合、入り口にドアマットを敷いてください。
- 万が一、外的な衝撃によりフロアに欠けや割れが生じた場合には、壁際から床をはずし、ダメージのあるフロアのみ交換するか、床専門の補修業者（リペア業者）様に、パテ埋め、もしくはタッチアップ等にて補修していただくことを推奨いたします。
- 当製品は一般的な市販の洗剤に対する耐薬品性を持っておりますが、酸性の強い製品や塩素系の商品においては、長期間放置するとフロア表面に影響が出るものもありますので、出来る限り速やかに拭き取ってください。（塩素系のタイプも同様です。）
- 汚れの多い場所で使用の際は、表面の凹凸部に汚れが入り込み、完全に拭き取れない場合があります。